

## 在籍医師の紹介

医長	たかえけんたるう <b>高江 健太郎</b> 専門：産婦人科学一般 婦人科がん検診 医事法学
医員 (非常勤)	いとうりょうや <b>伊藤 良彌</b> 専門：婦人科がん検診 婦人科腫瘍学 細胞診断学
医員 (非常勤)	まつだつとむ <b>松田 努</b> 専門：婦人科学一般 婦人科がん検診

## 診療実績 【令和3年度 実績】

一般外来数	2,145件
子宮頸部細胞診 検査数	919件
コルポスコピー 検査数	605件
子宮頸部組織診 検査数	96件



### 当センターへの紹介方法

東京都立がん検診センターは、予約制です。  
以下の方法で当センターへの予約をお取り下さい。

- ① かかりつけ医の先生よりご予約の場合  
FAX 042-327-0450 または TEL 042-327-9333
- ② 患者様より直接のご予約の場合  
TEL 042-327-0201(内線:2245)

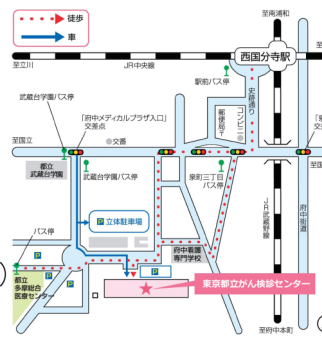
### お持物

- ◎保険証
- ◎診療情報提供書（紹介状）または検診結果  
（以下、お持ちの方のみ）
- ◎診察券 ◎各種医療券 ◎お薬手帳

### 【地図】

### 【アクセス】

JR中央線 西国分寺駅より  
徒歩：15分  
バス：5分  
（総合医療センター前 下車）  
車・タクシー：5分



### ホームページ

<http://www.tmhp.jp/tokyo-cdc/>



←Twitterではお知らせなど発信中です！

## 東京都立がん検診センター

### 診療科リーフレット

# 婦人科



地方独立行政法人 東京都立病院機構

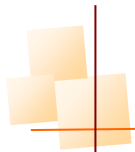
## 東京都立がん検診センター

Tokyo Metropolitan Cancer Detection Center

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2

TEL 042-327-0201(代表)

FAX 042-327-0450



## 婦人科の紹介

婦人科では

- ・子宮頸がん検診等で「要精密検査」あるいは「要経過観察」の指示を受けた方
- ・医療機関からの紹介、受診を勧められた方
- ・不正性器出血などの自覚症状が続いている方

に対して、診療・検査を行っております。

他施設での検診で、「要精密検査」あるいは「要経過観察」となった方について、必要に応じてコルポスコピー(拡大鏡)検査、子宮頸部組織検査、超音波検査、子宮内膜細胞診等を行います。

検診結果をお持ちであれば、紹介状がなくても受診できます。

経過観察を要する場合には、継続して診療いたします。

診察・検査の結果、治療や更なる精密検査が必要な場合には、がん診療連携拠点病院をはじめとした専門医療機関へご紹介しております。

精密検査が必要な場合などには、安心して検査を受けて頂ける様、病状や検査についてわかりやすい説明を心がけております。

ご不明な点をご遠慮なくお尋ねください。

## 婦人科の特色

子宮頸部細胞診異常に対して組織検査(精密検査)を行い、組織検査で軽度ないし中等度の前がん病変(子宮頸部異形成)が指摘されたものの治療までは不要な方に対して、必要に応じて組織検査を実施しながら経過観察を行います。

一次医療機関では、組織検査が難しいことが多く、一方大きな病院では、組織検査そのものは可能ですが、治療までは不要な方に対して経過観察をすることができない場合があります。当科は、その間を橋渡しする役目を果たしています。

自覚症状がなく、自身の健康管理のために受診を希望される方に対しては「レディースドック(子宮頸がん)」をご用意しております。「レディースドック(乳がん)」を同時に受けることも可能です。是非ご検討ください。

### 子宮頸部組織検査

子宮頸部細胞診で異常を認めた場合に、病変と考えられる部位から直接組織片を採取し検査することで、精度を高めた診断を行います。病変があることが疑われる部位をコルポスコピー検査で確認した上で、子宮頸部から米粒の半分ほどの組織を、2～4か所程度採取する検査です。

## 検査内容

子宮頸部細胞診	子宮頸部の細胞をブラシなどの器具で採取し、顕微鏡検査にて異常細胞の有無を調べます。
超音波検査	膣(または腹壁)から超音波を当て子宮や卵巣の様子を観察します。
子宮内膜細胞診	子宮口から細い棒状の採取器具を子宮の中に入れて細胞を採取し顕微鏡検査にて異常細胞の有無を調べます。痛みや出血を伴う場合や、稀ですが感染などのリスクがある場合があります。
コルポスコピー	子宮頸部に酢酸を塗布し、それによる変化を拡大鏡で観察する検査です。子宮頸部組織検査では必ず行われますが、当科では、初診時や経過観察時の子宮頸部細胞診の際にも併用する場合があります。
HPV検査	子宮頸がんの原因となるヒト・パピローマ・ウイルスに感染しているかどうかを調べる検査です。ヒト・パピローマ・ウイルスは日本人女性の約80%が感染すると言われており、150種類以上あると考えられており、そのうち子宮頸がんの原因となりうるものは約15種類(ハイリスクグループ)とされています。